

地域図書館の存続を考える4会

2018.03.19. 15:00~17:00 場所) 第2庁舎会議室
出席

○豊ヶ丘複合館存続の会

東寺方複合館の存続を考える会

聖ヶ丘図書館の存続を考える会

唐木田図書館の存続を考える会：17人

○図書館本館整備担当：中島課長、笹原主査

○図書館：栗崎館長、米山サービス係長

○コンサル：寺田、中野

◇本館（中央館）整備予定地についての情報をお知らせして、 本館（中央館）の施設環境や機能について、のご意見

- ・場所は良いと思うのできちんとした書庫のある本館ができてほしい。
- ・豊ヶ丘から本館まで歩いた事がある。新本館にはバスを利用して行くだらう。貝取、豊ヶ丘の子どもたちからは遠いので、地域館が頼りになってくる。
- ・多摩センターは、今後も子どもが増えていく地域なので、将来的にも本館としては良い場所である。ただ多摩は地域図書館が先に根付いた地域なので、もっと地域図書館を充実させてほしい。
- ・直接東寺方から本館へ行けるバスが欲しい。
- ・聖ヶ丘から本館までは距離がある。直接行けるバスがあったとしてもなかなか本館を利用できない。
- ・本を借りるのは、近場の地域館で充分。だが、本館ならではの機能があれば行く事もあるだろう。そして、専門的な方々がいてくれるとなお良いだろう。
- ・本を借りたり調べたりするのは近くの地域館をつかうので、センター的な機能として本館にはあってほしい。
- ・本館と唐木田をつかっている。2つのうちで本館を使う時は、急ぎで絵本を20冊揃えたいボランティアの時などに使っている。
- ・本館では、地域図書館にはできないような特色のある講座等を、やっていただきたい。

◇意見伝達

- きちんとした書庫のある本館を。
- 本館は、貝取・豊ヶ丘の子どもたちから遠いので、地域館が頼りになる。
- もっと地域図書館を充実させてほしい。地域館を本館の枝葉（ブランチ）と考えないで。地域で生活する我々の地域図書館だ。
- 東寺方から本館へ行けるバスが欲しい。
- 本館ならではの機能。専門的な方々がいてほしい。
- 本館では特色のある講座をやってほしい。

◇地域館や駅前拠点館の魅力化の方向性について、のご意見

- ・蔵書利用分析表について。動いていない本だから抜いた方が良いとは言えない。→抜いた方が良いという事ではなく、本棚を空かせていく方が平置きや色々な事ができる、新しい本が埋もれずに前に出てきて魅力的にしていけるということ。また、引き算だけでなく、地域館にももっと必要な資料を入れて魅力的にする。今のままを守ることから、資料と場を魅力的にする方策を考えて行ければよいと考えている。
- ・他館へ貸し出したタイトルについては、良く借りられる図書館に本籍自体を移した方がよいのでは。→他館から借りた本は、元の図書館には戻らず返した図書館に残っている。
- ・動かない本にも必要な本があると思うが、あまりにも動かない本は重い空気をつくっている。動かない本の入れ替えを実験的にできないのか。→5年以上たった本を抜いたらどうなるかというワークショップもおもしろいのでは。
- ・図書館の蔵書が何万冊かで、本来は選書の仕方・全体の構成形式は変わるはず。地域館の資料世界をまとまりとして考えてこなかったように観察できる。
- ・現在の本館の蔵書数は。→29年3月現在で本館開架10万4千冊、閉架書庫16万3千、団体貸出室に6万3千冊。（裏側で22.6万冊）
- ・新本館の目標蔵書数が20万冊。地域館から動かない本を12万冊もついで（裏側34.6万冊）、本館は倉庫の様になってしまう。本館に置いていて、後に地域図書館に持っていきけるような余裕とスペースが必要だろう。→20万冊はあくまで、その冊数に見合った蔵書世界を作るという目標。

- 他館から借りた本は、返した図書館に残っている。

- ・多摩は除籍本があまりに多いがどうなっているのか。(数年前の統計)
→余分な複本は整理していつている時期の統計だろう。
→痛んだ本が書庫に残っていたので、キャンペーン的に除籍した年があったが、他の年の除籍数は多くない。
 - ・地域館の本を、生活に身近な分野に限定していくのか。
→より多い方が良いと思うが、限定ということではない。
 - ・参考資料や辞書や過去からの市民広報を、拠点館にも置いてほしい。
 - ・唐木田は唐木田図書館スタッフが児童館で読み聞かせをしてくれている。
 - ・本館の児童書は工作などが少ない。永山の方が揃っている。図書館間のバランスがもう少しとれると良いと思う。
→冊数は本館が多いが、絵本・乗物系などが弱いので魅力的になるようにしたい。
 - ・図書館に大切な物の1つが人材。人件費が減る等を理由に安易な業務委託はしてほしくない。
→浦安の駅前サービスは業務委託で行っており、そのような形態はありだと思っている。
 - ・新本館ができた時、必要な職員数は増えていくだろう。その時、地域図書館の人的サービスの質が落ちていかないか危惧している。基本計画で人の確保についてきちんと決めてほしい。
 - ・人の採用はどう行っているのか。図書館で長く働く人を育てて欲しい。
→常勤、嘱託、非常勤一般職各々40人ずついる。嘱託職員は司書資格があり3年以上の経験者を採用している。人事異動等は図書館長が決め、採用は教育部長と図書館長も入って決めている。
 - ・基本計画ではソフトウェアの方から多摩市のサービスをどうするかを決めて、その後でハードウェアの方を決めていくべき。
 - ・他の図書館と職員交換をして外に研修に出すのも良いと思う。
 - ・図書館員がいつまでもいてくれる保障はできないが、3年で移動するのは問題がある。
 - ・図書館は専門性が高いので、常勤職員であっても専門性が育まれるように人の配置を考えて欲しい。専門職が図書館の生命線だと考えて欲しい。
 - ・図書館員は行政との連携や地域資料の知識も大切なので、図書館サービスだけが専門性ではない。
 - ・司書資格をもっている嘱託の方が本と人を結んでいるのか。
→常勤総務係3名等はカウンターには出ていない。それ以外の人は頻度は様々だが司書資格の有る無しに関わらずカウンターに出ている。
 - ・動かない本を減らしていくのは良いと思うが、それを見た他部署の人に、予算を減らせると思われぬようにして欲しい。
 - ・地域館を現状どおり存続してほしい。
→現時点で1館あたりの奉仕対象人口は浦安や調布と同等。2060年には人口が10万人台という推計があることも考えておく必要がある。
→浦安や調布の分館と比較して、蔵書冊数は同等レベルだが、多摩では延床面積が大きい。
- ◇意見伝達
- 生活に身近な分野に限定しない。
 - 参考資料・辞書・過去からの市民広報を、拠点館にも置いてほしい。
 - 児童書は永山の方が揃っている。
 - 図書館に大切な物が人材。安易な業務委託はしてほしくない。
 - 新本館ができた時、地域図書館の人的サービスの質が落ちないようにしてほしい。
 - 図書館で長く働く人を育てて欲しい。
 - 他の図書館と職員交換をして外に研修に出す。
 - 図書館員が3年で移動するのは問題がある。
 - 専門職が図書館の生命線。
 - 図書館員の専門性は図書館サービスだけでなく、行政との連携・地域資料の知識も含む。
 - 司書資格の有る無しに関わらずカウンターに出ている。

地域図書館の存続を考える4会

2月16日にあらためて
地域図書館の存続を願って
市長と教育委員会に以下の
要望書を出しました。

◇意見伝達

2018年2月16日

多摩市長 阿部 裕行 様
多摩市教育委員会委員 各位

豊ヶ丘複合館存続の会 代表 大橋 慶一
東寺方複合館の存続を考える会 代表 齊藤 仁
聖ヶ丘図書館の存続を考える会 代表 厚芝 麗子
唐木田図書館の存続を考える会 代表 中江 智明

多摩市立図書館の地域図書館存続を願って

今年1月25日の「パルテノン多摩・周辺施設整備等特別委員会」は、本館用地として、市から提案のあった中央公園北西側のレンガ坂近くの土地を図書館本館用地として決定しました。

これまでの決定プロセスに、上記の各「地域図書館の存続を考える会」（「4団体の会」と称しています）を含む市民の声、現場の声を聴く機会を設けていただき感謝申し上げます。

このたび、教育委員会より、特別委員会の決定や図書館協議会の意見等を勘案し、市長へ本館建設場所について回答され、今後は多摩市の図書館計画が、「多摩市立図書館本館再整備基本計画検討委員会」に論議の場を移し進められていくものと思われま。

そこで、私たち「地域図書館の存続を考える会」（4団体の会）は、図書館本館は、地域図書館と密接な関係があると考え、以下の件について要請いたします。

記

- 1 「多摩市立図書館本館再整備基本計画検討委員会」では、これまで「多摩市立図書館本館再構築基本構想」に示された7つの図書館維持の方針のもと、地域図書館のさらなる活用をめざした図書館システム全体の論議を進めていただきたい。
- 2 「本館基本計画検討」に市民の声が、反映する工夫を十分にしてください。また検討委員会の論議をはじめ、市民からどのような声が上がりが進んでいるかがわかるよう、情報をすみやかに届ける工夫をしていただきたい。
- 3 教育委員会で決定された「基本構想」で提言されている、地域図書館を含む図書館システム構築を行政として市民に表明し、地域図書館存続に対する市民の不安を払拭していただきたい。

以上検討の上、3月16日(金)までに回答ください。

1. 地域図書館のさらなる活用をめざした図書館システム全体の論議を進めていただきたい。
2. 「本館基本計画検討」に市民の声が、反映する工夫を十分にしてください。また、論議や検討の情報をすみやかに届ける工夫をしていただきたい。
3. 「基本構想」で提言されている、地域図書館を含む図書館システム構築を行政として市民に表明し、地域図書館存続に対する市民の不安を払拭していただきたい。

29多企秘第750号
平成30年3月2日

豊ヶ丘複合館存続の会
代表 大橋 慶一様
東寺方複合館の存続を考える会
代表 齊藤 仁様
聖ヶ丘図書館の存続を考える会
代表代行 厚芝 麗子様
唐木田図書館の存続を考える会
代表 中江 智明様

多摩市長 阿部 裕 行
多摩市教育長 清水 哲 也

「多摩市立図書館の地域図書館存続を願って」について

日頃より、多摩市立図書館の運営にご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。

お寄せいただいたご要請の内容を拝見させていただきました。ご要請いただいた内容に対する市の考え方について、下記のとおりお答えします。

記

1 多摩市立図書館本館再整備基本計画検討委員会では、課題の多い暫定活用施設の再整備に向けて様々な検討を行う予定です。方向性としては、基本構想で提言された、全体ネットワークにおける各館の役割分担を考えながら、全体を支える中央図書館機能を検討します。具体的には、地域図書館を含めた蔵書構成や運営のあり方などについても検討する予定です。

2 基本構想では、グループヒアリングなどの手法で市民のご意見を反映させながら、検討を深めてまいりました。各委員会の資料

や要点録についても、毎回市公式ホームページ及び各図書館での閲覧という形で情報提供を行い、パブリックコメントでも多くの意見を頂くなど、市民の皆様の参画により策定できたものだと思っております。

基本計画の検討においても、市民の皆様とのグループヒアリングのほか、検討委員会冒頭での委員・傍聴者も含めた学習会形式の取り組み、検討資料の事前公開と意見照会を行うことで、委員会で頂いたご意見を踏まえた形で議題を検討するなど、より一層市民のご意見を反映できるような工夫を考えています。検討の経過も含めた情報共有にも努めていきます。

3 図書館サービスは、中央図書館、駅前拠点館、地域館、学校図書館やアウトリーチ先を含めたネットワーク全体が、有機的に機能することで効果を上げるものです。その中で、地域に身近なサービス拠点である地域図書館は重要なものと認識しています。

一方で、公共施設の更新問題を考える視点として、地域館の機能を、安全で持続可能な形で提供することや、時代のニーズに合わせた施設への機能転換についても、考えなければなりません。個別の地域館の施設更新の課題については、それぞれの地域の様々な課題解決も含め、地域の皆様と話し合いながら、皆様といっしょに考えていきたいと考えています。

なお、図書館本館再整備基本計画の検討委員会は、平成30年2月18日から始まり、本年8月のまとめを目的に検討を深める予定です。「知の地域創造」に向けて、より良い図書館ネットワーク、全館を支える中央図書館機能の整備が実現できるよう、進めていきたいと考えておりますので、引き続き見守っていただくとともに、ご意見をいただきますよう、お願い申し上げます。この度は、貴重なご意見を頂き、ありがとうございました。

4会の要望に対して、市長、教育長さまから市の考え方についての回答をいただきました。

◇意見伝達

→ 基本構想で確認した方針をふまえ地域館の蔵書構成や運営をこれから検討する予定です。

→ 市民のご意見を良く聞いて、議題の検討の経過も情報共有しながら、進める予定です。

→ 地域図書館の重要性を理解し、地域の課題解決を、お話し合いで一緒に考えていく予定です。

みんなで考えよう!

★豊ヶ丘複合施設の今後を考える市民ミーティング(第3回)★

豊ヶ丘地区のこれから

～地域に必要な機能とは?～



※多摩ニュータウン南側プロジェクトのポスター作品の一つ「コンビニより図書館が近い街」

豊ヶ丘図書館、老人福祉館、児童館・学童クラブ、地区市民ホールが入る地域の大切な拠点「豊ヶ丘複合施設」は、平成34年度に大規模改修時期を迎えます。この施設が、これまで果たしてきた役割を踏まえ、これからの少子・高齢化時代を健康で幸せに生き抜くために必要な機能を、一緒に考えてみましょう。

今回は、現在の利用状態と、今後の要望を、広い年齢層の方々から伺い、意見交換を試みます。積極的なご発言を期待しています。

豊ヶ丘複合施設を考える
3回目の市民ミーティング
が進んでいる。

報告

- 「子どもたちの健やかな成長のために」(児童館・学童クラブ) 高橋 珠未 さん
- 「いくつまでも健康なからだ気持ちよ」(老人福祉館) 鈴木 義江 さん
- 「豊ヶ丘図書館は多世代市民の知と健康の宝庫」(図書館) 安室 君子 さん
- 「趣味で充実した毎日を」(市民ホール) 上田 弘子 さん

【日時】平成30年3月25日(日曜)午前10時～12時
【場所】豊ヶ丘地区市民ホール(豊ヶ丘複合施設)第1会議室
 ※申し込み不要です。当日直接会場へお越しください(定員60人)。
 ※会場へお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

【主催】多摩市 企画政策部 行政管理課
 豊ヶ丘複合館存続の会

豊ヶ丘複合館年間延べ利用人数等 施設白書平成29年11月更新より 2018年2月豊ヶ丘複合館存続の会

	2016年・平28年度	2015年・平27年度	2014年・平26年度	2013年・平25年度
図書館	貸出者数 60,881人	61,916人	61,474人	62,875人
冊数	貸出点数 157,656冊	163,241冊	164,180冊	168,486冊
	お話し会参加人数 595人	670人	1090人	893人
児童館	延べ利用者数 18,606人	17,774人	20,189人	19,248人
	利用登録者数 1,017人	1,072人	1086人	1,116人
学童クラブ	延べ在籍者 20,403人	23,219人	22,648人	20,383人
	延べ出席者 13,411人	15,087人	13,749人	12,669人
	実在籍者 70人	73人	76人	70人
老人福祉館	7,250人	7,533人	7,628人	8,318人
(内お風呂利用者)	(3,299人)	(3,580人)	(3,875人)	(4,405人)
市民ホール	11,816人 346団体	12,056人 384団体	12,753人392団体	12,270人395団体
	(112,735人)			(123,987人)

建築年月	昭和54年4月(築39年)
敷地面積	2919㎡
建築面積	1028㎡(図書館増築分含む)
延べ床面積	1548㎡
建物取得費	3億1864万円
平成34年度大規模改修見込み額	3億8484万円
近隣公共施設	具取こぶし館
施設利用者	58,897人(平28年度 2016年)

2 対話・検討のスケジュール(案)

対話・検討のスケジュール案は下図のとおりです。 2017.8.19 多摩市企画政策部行政管理課

仮に、平成34年度に施設の大規模改修工事を行うとすると、その前段階で基本設計と実施設計を行う必要があります。基本設計と実施設計は合計で約2カ年を予定しています。

なお、施設の老朽化や安全面などを考慮すると、これ以上改修を先伸ばしすることは難しいものと考えています。

